

道

2018・5・2

通信 No 1485



今日の練習は中山先生
(森先生が合同練習参加)

9日は1部・3部練習

～ 「道」、歴史のひとつま ～

B 堀内 俊昭

2001年、「道」の定演がMM大ホールへ移って2年目でした。

その1カ月前に入団し以来18年になりました。初の定演当日は舞台への椅子出し等の手伝いをし、ホールの係員に手際が良いと誉められたのを今でも覚えています。

2002年は団員数が92名にもなり、今までの最多になりました。

教室(岡中)に入りきれないから、もう増やすなどの声も出ていました。

その中で現在も在籍している人数を数えてみると27名(S8、A12、T2、B5名)でした。

2006年は「ロシア民謡フェスティバル」が合唱団「白樺」の主導で行われました。

6月に行われた「春の合唱交流会」は関東、関西の25合唱団そして特別出演をしたのが「国立モスクワ音楽院室内合唱団」でした。

11月に行われた「秋の大音楽会」は東京文化会館大ホールで昼の部、夜の部と連続で行われました。

「道は」夜の部6場での構成、出演をし、仕事の歌等6曲を演奏、

7場では出演者の合同合唱でヴォルガの船曳歌等を歌いました。

この会場へ入るのは初めてでした。薄暗い舞台裏は広くて、天井が高く壁には世界で有名な演奏家のサインが幾つも書かれていたのが印象的でした。

2016年7月に「第3回ロシア音楽祭」が新宿文化センター大ホールで開かれました。

内容は、合唱・民族楽器・舞踊で「国立モスクワ音楽院室内合唱団」も出演しました。

去年は定演で「オールマンリバー」を歌いました。

ここの船曳きは「死ぬまで休めない」という。「ミシシッピーは一人流れていくのみ」で助けてくれない、そして「たたかう力もなく」と絶望の中にいます。

一方、今年歌う「雪白く」は頭も胸も痛み、父も母も妻もないなかで死んでいった。

初めてこの歌に接した時は凄く悲惨な歌だと思った。しかし、現代の日本でもこの様な状態で死を迎える人は多くなっていると思います。そして、「オールマンリバー」と比べて大きな違いは仲間の手に抱かれて、温かく埋葬されたことで、とても大きな希望を感じます。

先週練習日迄のチケット入金状況

(担当 市原さん)

S1 168枚 S2 98枚 A 210枚 T 176枚

B 170枚 事務局 28枚 小坂先生 40枚

合計 890枚

(目標 1400枚 引き続きご健闘お願いします。)

残り練習はあと 4回

5/9(水), 5/16(水), 5/20(日), 5/23(水)

楽しい、充実した、後悔のない舞台を創ろう～！！

今日の片づけはアルトとテノールです